長建協発第123号
平成26年6月13日

会 員 各 位

一般社団法人長崎県建設業協会
会 長 谷 村 隆 三
[公 印 省 略]

平成26年の職場での熱中症予防対策の重点的な実施について

かねてより、本会業務の円滑な運営等につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

職場での熱中症予防対策については、平成21年6月19日付け基発第0619001号「職場における熱中症の予防について」（以下「基本対策」という。）により示しているところですが、平成25年の職場における熱中症による死亡者数は30人と例年よりも多く、業種別に見ると、建設業が9人、製造業が7人、警備業が2人、農業、林業及び運送業が1人等となっており、引き続き基本対策で示している熱中症予防対策の的確な実施が必要であります。

さらに、気象庁の暖候期予報によれば、平成26年の暖候期（6～8月）は、西日本、沖縄・奄美では気温が平年並みか平年より高くなることが予想されていることから、熱中症による労働災害が多く発生することが懸念されております。

つきましては、建設業及び建設現場に付随して行う警備業の職場での熱中症予防対策の重点的な実施について、全建を通じ厚生労働省労働基準局安全衛生部長より別添のとおり協力依頼がまいっておりますのでお知らせ申し上げます。